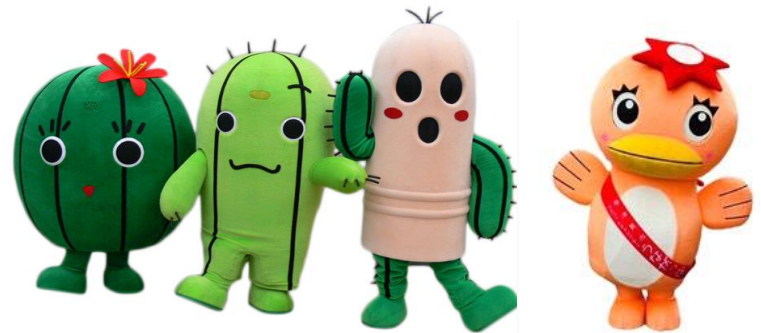


事業計画に基づく 春日井・多治見エリアの取り組み



2022年1月
管理者勉強会

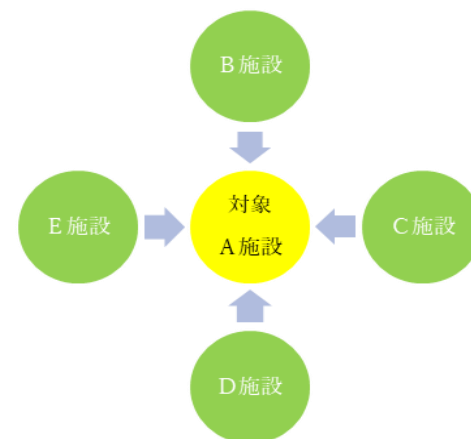
①介護部門の取り組み

虐待・拘束などの不適切ケアをなくす

moreスマイルプロジェクトの実施 ～三大介護の声掛け適切ですか？～

『moreスマイルプロジェクトの目的』

3大介護（食事・入浴・排泄）を
中心に自施設との違いを感じる。
今年度は特に声掛けに着目し
他施設のケアや業務を見ることにより、
自施設の改善点を見出す。



具体的な取り組み方法

- 対象**：春日井・多治見エリア入所施設
- 内容**：3大介護（食事・入浴・排泄）
を中心に利用者様に対する声掛けを見学
- 時間**：多角的な視点で気づきを生むため、
1ヶ月で最短でも4時間×2名で実施
※実施時間の内、30分で報告書の作成を行う。
- 場所**：対象施設の全フロアにて実施
- 評価方法**：moreスマイル報告書
- 取組計画**：取り組み計画書
※毎月1日～15日の間で実施できるように、
見学予定は対象施設が前月20日までに不可日を決め、
対象施設以外は前月27日までに見学日を入力し決定する。

取り組みの注意点

□施設見学の注意点

- ・あくまでも自施設と他施設との違いを知ることが目的であり、**偏った視点での批判はしない**（従来型やユニット型それぞれでハードやソフトなどの違いがある）
- ・建屋全体も見学し、広い視点での気づきを養う。
- ・**利用者様の生活空間であるため、騒々しくならないように注意する。**

□見学受け入れ施設の注意点

- ・**何かを訊ねられた際にはフロアとして自信をもって答える。**返答しかねる際にはわからないではなく、確認をしたのちに回答する。

報告書の作成方法

□moreスマイル報告書の記載方法

- ・当日参加職員の意見を総評し、1施設1枚にまとめて報告書を作成後、上司に提出する。

※別日で参加の場合、各日で報告書を作成し、上司に提出する

- ・対象施設は他施設からの報告、提案を参考に事業所の向上や課題の改善をする。

- ・双方の事業所をより良いものにする為の取り組みであり、出来ていない事にスポットをあてた報告にならないよう注意する。

※対象施設は提出された報告書をもとに改善と提案項目の報告をエリアの会議にて行い翌月25日～30日の間にフォローアップを担当介護長が実施する。

提案に対して取り組んだこと

(特別養護老人ホーム グレイスフル春日井)

取り組み内容

「お食事の配膳時、お食事を配膳することに夢中になり、メニューの説明などのお声掛けが少なかった。食欲がわくような工夫があると良いと感じた。」という提案を受け、お食事を配膳する担当者は、必ず、献立表の内容確認を行ってから食事の配膳を行うように徹底した。

確認できた効果・期待される効果

利用者様にとって、お食事の時間はとても楽しみな時間であるが、毎日の繰り返し行われる業務の中で、その意識が薄れていた。

「今日は、〇〇です。色鮮やかですね。いい匂いですね。温かくて美味しそうです。」といった声掛けを増やすことで、視覚、嗅覚、味覚を楽しむことができることあらためて感じる事ができた。

提案に対して取り組んだこと

(介護老人保健施設 グレイスフル春日井)

取り組み内容

職員同士の声掛けや挨拶、利用者様へのケア前の声掛けなど全体的に明るい雰囲気作りが十分でない。また利用者様の居室の扉やカーテンが開けたままになっている部屋が多く改善が必要と提案を受けた。

確認できた効果・期待される効果

フロアごとに挨拶や声掛けの重要性を改めて呼びかけ改善に向けた取り組みを行った。しかし全体的に改善、効果が現れた。というところまでの達成を果たすことができず引き続き全体的な働きかけの取り組みとともに個別での指導も必要と課題が残っている。

提案に対して取り組んだこと

(特別養護老人ホーム 第2グレイスフル春日井)

取り組み内容

他施設からの職員来設の際に、明るい挨拶について不十分との印象、また、食事提供の際の席位置についても、見守りのしやすさ等の視点で見ると、「もっと工夫ができるのではないか」との意見を頂き、2か月に1回、接遇環境チェックリストを基に、介護長評価による全ユニット公表制の評価を実施。各ユニットで、チェックを行うことで、改善を図る。

確認できた効果・期待される効果

チェック表を元に数値化したチェックを実施した。挨拶意識については、数値的に顕著に改善が見られたユニットもあれば、個別要因が強く、現在も課題解決に至っていないユニットもある。食事席については近い時期に誤嚥予防マニュアルの発信があったこともあり、意識向上に繋がっている。

提案に対して取り組んだこと

(特別養護老人ホーム グレイスフル浅山)

取り組み内容

利用者様の声掛けの中で、声掛けが不十分であったり、少し子ども扱いするような（受け取られてしまう）声掛けがあったため、改善を図った。

確認できた効果・期待される効果

声掛けがないとどのような気持ちになるかなど相手の気持ちになることで配慮が足りていないことや不足していることに気づくことができた。まだまだ職員本位で行動してしまう職員もいるため、相手への当たり前の配慮をすることを逐一指導が必要となっている。

提案に対して取り組んだこと

(特別養護老人ホーム ジョイフル多治見)

取り組み内容

入室時に“3回ノック”をおこなっている職員が少なく、利用者様のプライベートルームへの配慮と接遇マナーの面で教育が十分では無い為、今後の改善が必要と提案を受けた。

ユニットリーダー会議にて話し合いをおこない、まずはリーダーが先頭に立って入室前の“3回ノック”を実施するよう徹底した。

確認できた効果・期待される効果

利用者様の在室を確認し、入室の許可を求めるといった、介護職として、また社会人としても、ごく当たり前の礼儀作法を職員全体で見直す機会となった。

②施設CM部門の取り組み

認知症利用者様の尊厳のあるケア

旅のことばカードの活用を学ぶ

常に人としての尊厳が守られ、笑顔溢れる環境を構築するために「旅のことば」カードを活用し、介護従事者としてだけでなく、利用者様、ご家族、その他関わるすべての人の立場に立って考える機会を通して、介護の原点を皆で感じ、気づき、学ぶ。そして、その学びを各施設にて普及させる。

指導者研修会の実施

認知症の症状がある利用者様のバックグラウンドや気持ちを知り、
多職種で共有する

旅のことはカードの活用を学ぶ

参加者 1グループ4名×5グループ

施設長・施設マネジャー・介護長・主任相談員
看護主任・ケアマネジャー等が参加

準備① 旅のことはカード

準備② A3の紙（20枚程度）

ポストイット・サインペン



旅のことはカード

記載されているキーワードをきっかけにする

自分の日課

ちょっとしたことでも
毎日コツコツと。



ほかの人にしてもらうことが多くなってきました。

▼そのとき

自分でしないほうがよいかと思っただけ以上に任せていると、今できることもできなくなってしまいます。

▼そこで

家族と話し合いながら、自分ができることを話した「日課」をつくります。

特別な日

いつもとは違う自分になるわくわく感。



毎日同じような日々が続いています。

▼そのとき

単調な生活が続くと、本人も家族も前向きな気持ちが弱まってしまいます。

▼そこで

時折、本人がいつもとは違う時間を過ごす〈特別な日〉をつくります。

自分の仕事から

自分たちには一体何ができるだろうか？



いま日本では認知症だと考えられる人は800万人（予備軍を含む）いるといわれ、これは高齢者の約4人に1人にあたると知りました。

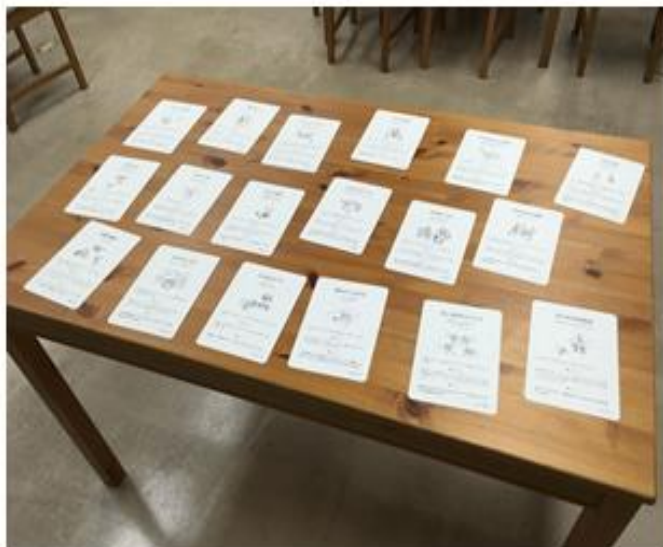
▼そのとき

認知症の方がよりよく生きるためには、生活のいろいろな場面での支援や社会的な対応が必要ですが、医療と福祉の分野以外ではまだまだあまり取り組みが進んでいません。

▼そこで

認知症の方々がよりよく生きられる社会に向けて、自分たちの仕事のなかでできることを考え、日々の仕事に取り入れます。

テーブルにカードを同じ方向で並べてみてください。
(40枚すべて)



1. カードを眺めてください。
2. 下記だけ見ればオーケーです！
 - 一番上の太字
 - 太字のすぐ下のことば
 - イラスト



カードの例

それぞれの方が、好きなカードを「3枚」選び、
「自分の色」のふせんを貼ってくださいすべて)



カードを選んだ理由を「ひとりずつ」、「一枚ずつ」
話してみましょう



選んだカードを使って3周してみてください。

早く終わったら、もう一枚ずつ選んで、話してみてください。

話すことがそれほど得意でない人でも

1. これまで培った経験や体験を、
2. 自らの実感とともに語り、
3. 他の人たちと共有することで、
4. 共感とつながりを増やしていく。

新人職員茶話会での実践

取り組み内容

- ・ 2021年度新卒採用者職員(20名)に対して実施
- ・ 旅の言葉カード(6種類)のテーマ

特別な日、今を楽しむ、自分の時間、自分の日課、ともに歩む、活躍の機会

確認できた効果・期待される効果

- ・ 共感したこと、参考にしたいことなど、職員の前向きなコメントを引き出すことができた。

各施設でのカードを使ってみよう

(特別養護老人ホーム グレイスフル春日井)

取り組み内容

特養リーダー会議の前の時間を活用して、施設長・介護長・副介護長
フロアリーダー・ユニットリーダー・機能訓練指導員・管理栄養士にて
実施する。『旅のことば』カードから、好きなことばの書かれたカードを
選び、その内容に関係する、自分自身のエピソードを自由に話をする。
話を聞く側は、共感をし、応援するメッセージを伝える。

確認できた効果・期待される効果

キーワードになる1つのことばから、その方が語る過去の経験、好きな活動、これからの想いを知ることができた。

利用者様のサービス提供を行う中で、「認知症の症状＝コミュニケーションが難しい」と思い込んでしまうことがあるが、利用者様の声「ことば」に丁寧に耳を傾け、その感情に寄り添うことのできるサービスの提供を目指していきたいと感じることができた。

各施設でカードを使ってみよう

(介護老人保健施設 グレイスフル春日井)

取り組み内容

施設内勉強会として実施

4名のグループワーク

テーマに沿った話を2回、1人当たり3分

感想と取り入れについて意見交換

確認できた効果・期待される効果

利用者様を知ろうとする意識、利用者様が表現するきっかけとなる。

モニタリングや満足度の確認に活用できる。

各施設でカードを使ってみよう

(特別養護老人ホーム 第2グレイスフル春日井)

取り組み内容

経営リーダー会議にて実施

各事業所に講習実施（30分） 参加9名

説明と2グループでワークショップ実施

確認できた効果・期待される効果

相手の人となりを見る視点が認識できた。

コミュニケーションの活性化を図ることが期待できる。

モニタリングや職員研修の場で活用する事でより深い情報を知る事が期待できる。

各施設でカードを使ってみよう

(特別養護老人ホーム ジョイフル多治見)

取り組み内容

- ・ 特養ユニットリーダー会議の時間を活用。
- ・ 4名ずつ、4グループで実施。
- ・ 感じたこと、気づいたことを発表。

確認できた効果・期待される効果

- ・ 「自分の介護される姿を考えたことがなかった」など、自分事として考えることができた。
- ・ 「個別ケアの必要性や傾聴していきたい」等、介護者としての思いを共有できた。
- ・ 認知症について理解への意識が高まる。
- ・ 関係づくりへの積極的な働きかけができるようになる。
- ・ 個々の相手の立場に立ったケア、寄り添うケア技術向上。
- ・ フロア内に毎日笑顔が見られる。!(^^)!

③通所部門の取り組み

重大事故の防止を徹底する

安全運転教育をドライブレコーダー等を活用した勉強会を実施し安全運転の意識を高める。

事業所・エリア（法人）内で発生した車両事故映像を活用し、事故発生のシミュレーションを行い、事故発生原因・回避策を検討し、危険予測力、安全運転の意識を高める。

職員により事故防止に対する知識や意識の差があるため、継続して安全運転の取り組みを行う。

各施設での実践

(サンサンリゾート グレイスフル春日井)

取り組み内容

「送迎中の交通安全の徹底について」

- ・ デイ会議内で実施
- ・ ドライブレコーダーの記録を活用し、平時の様子からの危険予測、事故の検証を行う

確認できた効果・期待される効果

- ・ 他者の運転や様子を見ることで安全への意識が高まり、車両事故が減少している
- ・ 事故の検証が映像でできるため、より現実のこととして検証でき、車両事故防止に繋がっている

各施設での実践

(デイサービスセンター ジョイフル多治見)

取り組み内容

「安全運転の意識を高め、重大事故を防止する」

- ・ デイサービスフロアー会議内で研修を実施。
- ・ トラブル発生時にドライブレコーダー記録を確認し、発生原因を検証。

確認できた効果・期待される効果

- ・ 送迎時の車両停車位置について意見を頂くことがあり、ドライブレコーダーを確認。
- ・ 利用者家族の協力を得て、他者の通行を妨げない方法を確立する。
- ・ 運転時のマナー（気配り）が車両事故防止にも大きく影響することを学ぶことができた。

各施設での実践

(デイサービスセンター グレイスフル春日井)

取り組み内容

「ドライブレコーダーを活用し事故を未然に防ぐ」

- ・全体会議内で研修内容を説明し実施した。
- ・ドライブレコーダーの映像を活用し、危険予測を行う。

確認できた効果・期待される効果

- ・送迎時、狭い道や夕方見えにくい場所を職員が把握し周知することができ、注意喚起を行うことができた。また乗車中の利用者様への声掛けなど接遇についても振り返ることができた。

各施設での実践

(小規模多機能型居宅介護 グレイスフル浅山)

取り組み内容

「ドライブレコーダー等を活用し、安全運転の意識を高める」

- ・小規模会議内で勉強会を実施。
- ・運転時危険予測資料を活用し、危険予測と事故の検証を実施。

確認できた効果・期待される効果

- ・送迎時の危険個所も、ドライブレコーダーの映像を確認することで共有することが出来た。
- ・運転前後の車両チェックを徹底する意識が高まり、より安全運転に対する意識が向上した。

各施設での実践

(デイケアセンター グレイスフル春日井)

取り組み内容

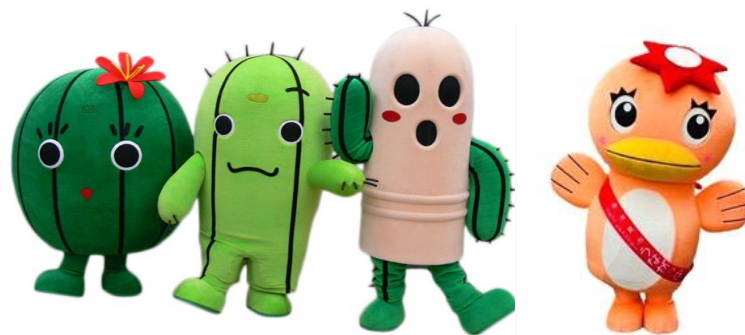
「ドライブレコーダー等を活用した安全運転教育の勉強会を年3回実施し、安全運転の意識を高める。」

- ・デイケア会議内で勉強会を実施。
- ・ドライブレコーダーの映像をもとに危険予知トレーニングを実施。

確認できた効果・期待される効果

・狭い道路や交差点での巻き込み事故などの実際の映像を見ることで安全運転に対する意識を高めることができた。また、送迎中のヒヤリハットがあったさいに、映像を確認することで未然に事故を防止することに繋がっている。

ご清聴ありがとうございました



2021年12月
管理者勉強会